

2017.07.01

市民センターだより

富本地域敬老会

5月14日(日) 敬老会実行委員会(大沼浩実行委員長・街づくり協議会福祉部長) 主催の富本地域敬老会が富本小学校体育館を会場に開催されました。

今年は施設を除く75歳以上の対象者443名のうち159名が参加しました。



富本小学校6年生の大黒舞

アトラクションでは今年もたくさんのおひねり』
 があり富本地域ならではの素敵な光景でした。

また、葉山中学校の生徒26名がボランティアで会場準備や席への案内などお手伝いしていただき、急きよ校歌の合唱も披露していただきました。



老人クラブ向陽会



岩野花笠会



中学生ボランティア



ふもと健康体操



婦人会

グラウンドゴルフ大会

5月21日(日) 富本地域グラウンドゴルフ大会が最上川右岸グラウンドゴルフ場(基点)で富本地域グラウンド・ゴルフ愛好会の協力により開催されました。大会結果は次のとおりです。おめでとうございました。

※敬称略

【総合】

優勝 大沼 幸(矢木沢)
準優勝 後藤 義満(楯)
第3位 渡邊フミ子(上久保)

【女性の部】

優勝 笹原千代子(下荒敷)
準優勝 笹原まさの(巾木田)
第3位 後藤きぬ子(楯)

【ホールインワン】

2回 大沼 幸(矢木沢) 後藤 義満(楯)
1回 大沼 正(中ノ目) 阿部 達夫(上ノ宿)
多田 博(山際) 海老名幸司(楯)
後藤きぬ子(楯) 石川 弘己(上荒敷)
笹原ミツ子(天神)

富本地域のサークル紹介

富本地域で活動しているサークルを紹介します。興味のある方は参加してみたいかがでしょうか。また、「センターだより」に掲載したいサークルも募集しています。

ふもと大正琴愛好会

拳富会(太極拳)

○練習 月2回程度
(練習日はご連絡ください)
○時間 午後7時30分から
○会場 市民センター
○連絡先 後藤敬子さん(楯)

湯野沢ゲートボール愛好会

○練習 月・水・金曜日
○時間 午後1時30分から
○会場 農村公園ゲートボール場
○連絡先 鈴木光子さん(中ノ目)

～ 主な行事予定 ～

7月

2日(日) 河川一斉清掃
6日(木) 青少年育成座談会
25日(火) レク大会実行委員会①
31日(月) レク大会合同会議

8月

3日(木) 防犯診断(湯野沢北)
6日(日) ふもと山の神お披露目
上旬 駅伝顔合わせ会
18日(金) ~20日(日) むらやま徳内まつり
23日(水) レク大会実行委員会②

※日程は変更になる場合あり

市民センターの屋根 改修工事完了

市民センターの屋根改修工事(塗替え工事)が完了しサビだらけだった屋根は大変きれいになりました。

何かとご不便をおかけしました。

通常どおり使用できますので、これまで以上に市民センターをご利用ください。

お心当たりのある方は 市民センターまで!

林道岩野大円院線から枯沢(からさわ)へ行く山道で拾った、バイクと思われるカギの落し物が届いています。

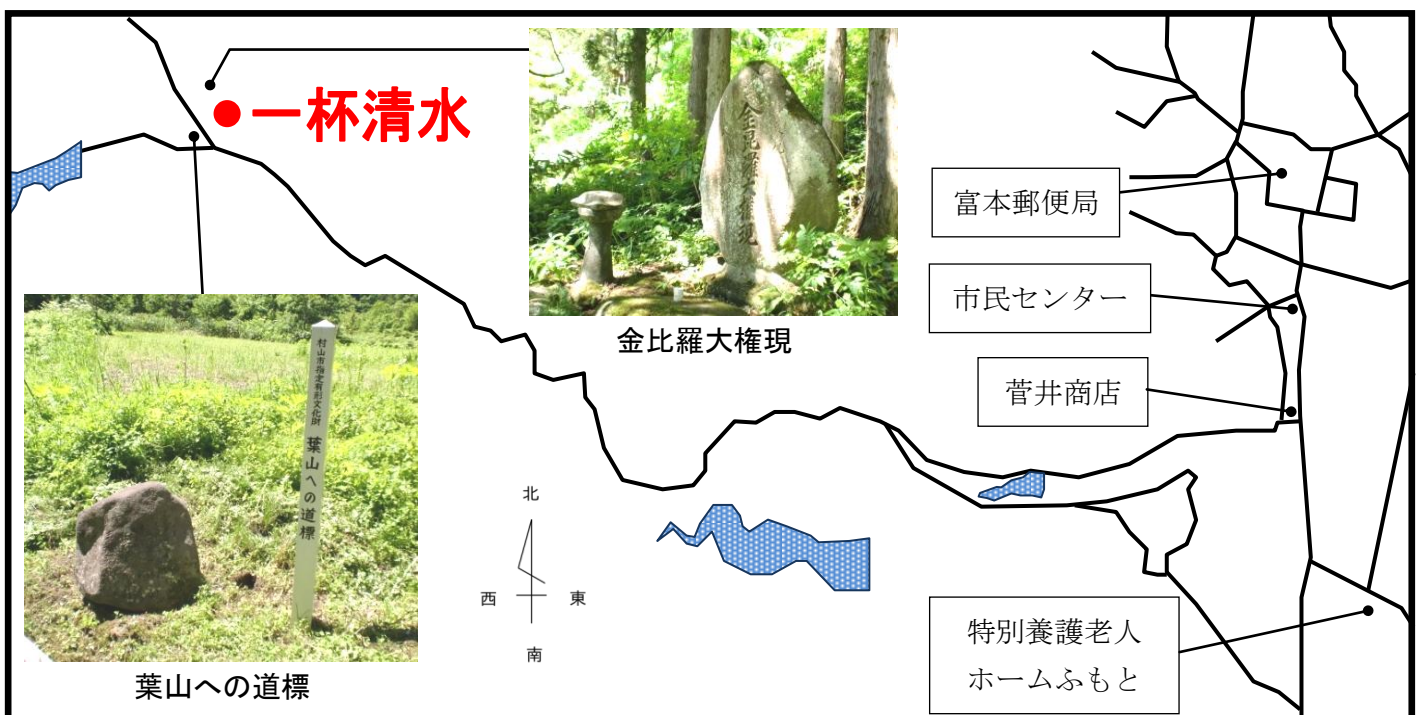


～ 富本地域の歴史探訪 ～



一杯清水

湯野沢の清水「一杯清水」をご存知でしょうか。
大沼薫さん（山際）が調べたこの清水について4ページに掲載しましたのでご覧いただき、地域の歴史に触れてみてはいかがでしょうか。



一杯清水 (清水は、すず、とも読まれている)

(一盃清水と台帳には載っております)

一杯清水は弘法大師が錫杖^{しゃくじょう}で、大地を突いて水を湧き出させた清水であるといわれていますが、弘法大師は水の霊である竜神を錫杖で目覚めさせて、水を湧かせたとの事です。

このためか、ここから葉山に入山する時は、必ずお椀一杯の水を汲んで飲んでいったことから一杯清水(鈴)の名になったといわれています。(にしかた歳時記より)

私はここから調べて見ました。

弘法大師(空海の俗名)は平安時代、中国より真言密教をもたらした高僧でした。

空海は学校でも習いますので皆さん知っていると思いますが、なぜそんな人が富本地域に来ていたのか不思議に思い、少し調べてみました。

弘法大師はその時代、仏教を広げる為に全国を行脚したと思われます。

その証として全国の温泉を発見したとされています。

山形県では、温海温泉を見つけたのも弘法大師と言われています。

でもなぜ一杯清水なのか。

ここは昔、葉山街道と言われ、昔は出羽三山の一角といわれていた葉山の大円院に行く道筋だったのでこの当時有名だった葉山大円院に弘法大師が来られてもおかしくないと思われます。

葉山大円院には、その当時いろいろな所から、いろいろな人が往来したものだと思われ、一杯清水の湧き水を一杯飲んで休んでからまた葉山大円院に向かわれたのでないでしょうか。

その時富本村は戸沢藩の一部だったため新庄の殿様が亡くなった後、葉山大円院が衰退したとの事です。

その後、羽黒山が出てきて、いまの出羽三山、月山、湯殿山、羽黒山、になっています。

その後の一杯清水の湧き水は昭和時代まで地元の人たちの喉を潤おして来た所です。

現在は、昭和までの里山が無くなりつつあります。

今の所わずかに杉の平と一杯清水に一ヶ所ずつ残っています。

今の私達の年代が亡くなった後、すべてが山に帰るのではないかと思われます。

せめて千年以上出ている湧き水は残しておきたいものです。(葉山大円院の一部がいまも岩野地区に残っています。そこには日光と同じような猿が見うけられます。)

富本地域には先人が残した数多くの言い伝えや物語があります。これからも残していきたいですね。

最後に皆さんが安心して飲めるように、先日、水質検査をしました。

その結果、水温9.8度で水質もすべて合格しました。

安心して利用して下さい。

先人も飲料水として利用していたのです。

又、もう1つ不思議なことがあります。

1000年以上も湧き出ている清水と、1000年前後葉山にあった大円院(医王山金剛日寺大円院)は昭和30年に岩野地区に下げられ葉山における歴史を閉じました。

その両方とも富本地域内にあります。

湯野沢(一盃清水)で体を清めて、岩野(大円院)でお願いをしてみたらいかがでしょうか。

地域の活性化の為に皆さんも、いろいろな面白いお話をお聞かせ下さい。